

関係各位

2023年1月24日

株式会社パテント・リザルト

【窯業】特許資産規模ランキング 2022

トップ3は日本ガイシ、TOTO、AGC

弊社はこのほど、独自に分類した窯業業界の企業を対象に、各社が保有する特許資産を質と量の両面から総合評価した「窯業業界 特許資産規模ランキング 2022」をまとめました。2021年4月1日から2022年3月末までの1年間に登録された特許を対象に、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計しました。

その結果、1位 **日本ガイシ**、2位 **TOTO**、3位 **AGC**となりました。

【窯業業界 特許資産規模ランキング 2022 上位10社】

順位	企業名	特許資産規模	特許件数
1位	日本ガイシ	13,583.7	297
2位	TOTO	8,522.2	327
3位	AGC	8,327.9	280
4位	LIXIL	8,294.8	330
5位	日本特殊陶業	5,450.9	292
6位	CORNING	5,213.9	167
7位	日本電気硝子	3,438.8	196
8位	太平洋セメント	2,796.1	136
9位	住友大阪セメント	2,291.6	71
10位	ノリタケカンパニーリミテド	2,269.4	50

【算出方法について】

特許資産の規模とは、各出願人が保有する特許（特許庁に登録され、失効や権利放棄されていない特許）を「特許資産」としてとらえ、その総合力を判断するための指標です。特許1件ごとに注目度に基づくスコアを算出した上で、それに特許失効までの残存期間を掛け合わせ、出願人ごとに合計得点を集計しています。注目度の算出には、特許の出願後の審査プロセスなどを記録化した経過情報などを用いています。

経過情報には、出願人による権利化意欲、特許庁審査官による他社特許拒絶への引用、競合他社による牽制行為などのアクションが記録されており、これらのデータを指数化することで、出願人、審査官、競合他社の3者が、個々の特許にどれくらい注目しているかを客観的に評価することができます。

なお権利者情報は2022年6月時点のものを用いております。

1位 **日本ガイシ**の注目度の高い特許には「燃料電池セルが排出する燃料ガス中の水素濃度を低減させる方法」や「素子本体の耐被水性を向上させたセンサ素子」に関する技術が挙げられます。

2位 **TOTO**は「比較的少ない洗浄水量でも有効な汚物の排出性能を維持できる洗い落し式水洗大便器」や「電動機の振動の伝達を抑制した衛生洗浄装置」に関する技術などが注目度の高い特許として挙げられます。

3位 **AGC**の注目度の高い特許には「伝搬損失を低減できるポリマー光導波路」や「遮音性と防音性とを確保することができる、2枚の強化ガラスを有する合わせガラスで構成される遮音板」などに関する技術が挙げられます。

4位 **LIXIL**は「プライバシーに配慮しつつ大便検知を行うことができる便器装置」、

5位 **日本特殊陶業**は「低温下で使用した際に、接着部材の剥がれや接着部材自体の破断、反りを抑制できる複合部材」などが、注目度の高い特許として挙げられます。

* * *

またパテント・リザルト社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【窯業業界 特許資産規模ランキング 2022 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・窯業 特許資産規模ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 50）
- ・窯業 登録特許件数ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 50）
- ・全業種 特許資産規模ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 100）
- ・全業種 登録特許件数ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 100）

▶価格：50,000 円（税抜）

【個別特許の評価データ】

個別特許の評価データを別途ご希望の場合は、お問い合わせください。

件数に応じて右表の単価が適用となります。

件数	単価（税抜）
1件～499件	1,000円/件
500件～999件	600円/件
1,000件～4,999件	500円/件
5,000件～9,999件	300円/件
10,000件～	お問い合わせください

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

Tel : 03-5802-6580

Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL <https://www.patentresult.co.jp/>